

平成24年度

事業報告書

社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

事業報告

《法人運営》

1. 法人の円滑な運営のため三役会の設置による検討を行い、組織の機能強化に努めました。また職員のスキル向上のため、内部研修や外部研修に積極的に参画しました。

(1) 会務の運営

役員会の開催

〈三役会〉

第1回

期 日 平成24年5月22日（火）
審議事項 1) 理事会・評議員会提案事項について
2) 施設譲渡に係る手続きについて
3) 行政との懇談会について

第2回

期 日 平成24年9月19日（水）
審議事項 1) 理事会・評議員会提案事項について
2) 今後の課題について

第3回

期 日 平成25年1月18日（金）
審議事項 1) 理事会・評議員会提案事項について

第4回

期 日 平成25年3月26日（火）
審議事項 1) 理事会・評議員会提案事項について

〈理事会〉

第1回 定 例

期 日 平成24年5月30日（水）午前9時30分から
審議事項 1) 平成23年度事業報告について
2) 平成23年度一般会計決算について
3) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会定款の一部変更について
4) 評議員の一部交替に関し理事会の同意を求めることについて

第2回 臨 時

期 日 平成24年9月24日（月）午前9時30分から
報告事項 1) 平成24年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告
(4月～8月)
審議事項 1) 平成24年度一般会計補正予算について
2) 経理規程の一部改正について

第3回 臨 時

期 日 平成25年1月28日（月）午前9時30分から

報告事項 1) 平成24年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告
(9月～12月)

審議事項 1) 平成24年度一般会計補正予算について
2) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会定款の一部変更について
3) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会評議員の委嘱に関し、
理事会の同意を求めることについて

第4回 臨時

期 日 平成25年3月16日(土) 午前8時30分から

審議事項 1) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会の会長および副会長の
選任について
2) 評議員の補欠選任に関し理事会の同意を求めることについて
3) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会の経営する施設の施設
長選任について

第4回 定例

期 日 平成25年3月27日(水) 午前9時30分から

審議事項 1) 平成24年度一般会計補正予算について
2) 平成25年度事業計画について
3) 平成25年度一般会計予算について
4) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会定款の一部変更につい
て

〈監事会〉

第1回

期 日 平成24年5月21日(月) 午後1時30分から

監査事項 平成23年度事業ならびに決算について

第2回

期 日 平成24年8月21日(金) 午前9時30分から

監査事項 平成24年4月～6月までの事業、会計について

第3回

期 日 平成24年11月28日(水) 午前9時30分から

監査事項 平成24年7月～9月までの事業、会計について

第4回

期 日 平成25年 3月 7日(木) 午後1時30分から

監査事項 平成24年10月～12月までの事業、会計について

〈評議員会〉

第1回 定例

期 日 平成24年5月30日(水) 午後2時から

審議事項 1) 平成23年度事業報告について
2) 平成23年度一般会計決算について
3) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会定款の一部変更につい
て
4) 理事の一部交替に関し評議員会の議決を求めることについて

第2回 臨時

期 日 平成24年9月24日（月）午後1時30分から

報告事項 1) 平成24年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告
(4月～8月)

審議事項 1) 平成24年度一般会計補正予算について
2) 経理規程の一部改正について

第3回 臨時

期 日 平成25年1月28日（月）午後1時30分から

報告事項 1) 平成24年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告
(9月～12月)

審議事項 1) 平成24年度一般会計補正予算について
2) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会定款の一部変更について
3) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会役員の委嘱に関し、評議員会の同意を求めることについて

第4回 定例

期 日 平成25年3月27日（水）午後2時から

審議事項 1) 平成24年度一般会計補正予算について
2) 平成25年度事業計画について
3) 平成25年度一般会計予算について
4) 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会定款の一部変更について

(委員会)

募金配分委員会

10月22日 配分基準について

平成24年度社会福祉大会被表彰者選考委員会

9月4日 社会福祉事業功労者等の選考

第三者委員会

- ・事業説明、苦情内容と事故報告等
- ・事業所訪問及び利用者との懇談

8月29日 障害福祉センター水車野園

認知症デイサービスセンターちやがゆの郷

1月30日 デイサービスセンターハートピア

- ・苦情 43件
- ・事故

〔	車両関係	33件
	介護関係	52件
	その他	16件

(2) 法人運営機能強化・危機管理のため役職員の資質向上を図ることを目的に内部研修の実施や外部研修に参加しました。

- ・理事、評議員研修ならびに社協事業説明会（市役所東庁舎会議室）

7月26日 講師 県社協地域福祉部 課長 谷口 郁美氏

- ・職員全員研修（正規職員・嘱託職員・非常勤職員）
 10月12日 人権研修 167名参加
 講師 みえ人権教育・啓発研究会
 代表 松村 智広氏
- ・社協全国会議への参加 11月5日～6日 4名出席
- ・滋賀県社協主催の中間マネジャー会議への参加（係長以上）
 生活困窮者支援を社協事業にどのように位置づけ展開していくか。
 年 5回 参画
- ・企業内窓口担当者研修等、県や市で実施される人権研修への参加

(3) 連絡調整のための会議の開催および各種会議等の参加により情報共有と共通認識を図りました。

- 課長会（月1回） 支所長会（月1回）
- 滋賀県社協主催プロジェクト等への職員の委員参画
- 全国介護サミット実行委員会
- 東近江安心ネットワーク事業運営委員会
- 東近江介護サービス事業者協議会
- 東近江市高齢者虐待防止ネットワーク協議会
- 東近江市介護保険運営協議会
- 東近江市人権のまちづくり協議会
- 商品券を活用した地域循環のしくみづくり検討委員会

(4) 平成24年度東近江市社会福祉大会（第8回）の開催

期 日 11月 1日（木） 午後1時30分から
 場 所 東近江市立八日市文化芸術会館
 参加人数 350名



社会福祉大会

内 容

① 式 典

表彰状、感謝状の贈呈

◇きらめき大賞	6名	4団体
◇東近江市共同募金委員会長感謝	3名	30団体
◇社会福祉協議会長表彰		
民生委員児童委員	1名	
援護功労者（保護司）	1名	
社会福祉事業功労者	30名	
ボランティアグループ・個人	1名	4グループ
福祉団体		1団体
◇社会福祉協議会長感謝	12名	13団体

②記念講演

演題 「“こんな^{まち}地域にしたい” をカタチに

～地域愛と支え合いでまちづくり～」

講師 桃山学院大学 社会学部 教授 松端 克文氏

(地域福祉活動計画策定委員長)

(5) 全国社会福祉大会（日比谷公会堂）において全国社会福祉協議会長表彰の受賞
11月16日（金）会長が全国の社協を代表して授与

(6) 個人情報保護規程および法令遵守要綱の遵守

(7) 東近江市平和祈念式への協賛・協力 7月21日

2. 社会福祉協議会の財政基盤確立のため自主財源の確保に努めました。

(1) 会費の使い道をわかりやすく説明するため地区ごとにチラシを配布しました。

一般会費 一口 500円

特別会費 一口 1,000円

【自主財源の確保】

◇一般会費 12,052,820円

◇特別会費 1,863件 3,315,000円

(2) 事務局を担当する共同募金運動の一層の推進により地域福祉財源の確保に努めました。

滋賀県共同募金会東近江市共同募金委員会

① 委員会事務局の運営

理事会 5月30日（水）、2月18日（月）

3月16日（土）、3月27日（水）

評議員会 5月30日（水）、2月19日（火）

3月27日（水）

監事会 5月21日（月）、8月21日（火）

11月28日（水）、3月7日（木）

②募金活動の推進（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）

◇一般募金実績 15,786,576円

配分状況 団体助成 45件 2,014,400円

約6割は、市内の高齢者や障がい者を対象とした事業や、地区、自治会の地域福祉活動、福祉団体等への活動助成

約4割は、滋賀県共同募金会を通じて、県内の福祉施設や共同作業所へ助成

◇歳末たすけあい募金実績		6, 714, 785円
配分状況		
生活困難世帯(激励金対象者数)	1, 111人	5, 555, 000円
学童保育、私立保育園、共同作業所、福祉施設等の年末年始事業への支援	35件	1, 253, 500円
◇東日本大震災義援金募集活動	・・・・・・・・・・総計	595, 497円
		(4月～3月)

3. 善意銀行に寄付された金品を市民の福祉向上のために活用しました。

(1) 預託

・金銭預託	一般寄付金	129件	2, 118, 273円
	指定寄付金	34件	1, 485, 668円
	手数料収入	13件	163, 604円

(自動販売機)

・物品預託

主な物品 米、車椅子、餅、足置台、防災ずきん、タオル等

・リサイクル預託

使用済み切手	99件	使用済みテレカ	18件
アルミ缶	41件	牛乳パック	46件
書き損じハガキ	6件	ペットボトルキャップ	74件
ベルマーク	34件		

(2) 預託金品等の効果的な払い出し

・金銭払出	54件	974, 471円
-------	-----	-----------

主な払出先

地区社協(12件)、福祉電話(4件)、宮城県復興支援[指定寄付](1件)
あゆみ作業所(1件)

・物品払出	米、餅、リハビリパンツ、タオル、雑巾、食料品等
-------	-------------------------

(3) 広報活動

- ・広報紙「ひがしおうみ社協だより」に掲載
- ・善意銀行だよりの発行



東近江市青年会議所からの寄付金贈呈

4. 援護を必要とする市民への支援活動

低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯の自立を支援するため、滋賀県社協からの委託による生活福祉資金貸付けや、東近江市社協独自の小口貸付資金、善意銀行、共同募金を活用した支援事業を実施しました。

(1) 生活福祉資金貸付制度の活用と指導助言

資金の貸付や緊急食料品等を活用し、社協らしく柔軟に生活困窮者への相談支援を行いました。

資金の種類	件数	資金の種類	件数
福祉資金	6件	教育支援資金	7件
緊急小口資金	25件	総合支援資金	7件
臨時特例つなぎ	4件	要保護世帯向け 不動産担保資金	1件

計 50件 31,354,000円

(2) 小口貸付資金の貸付事業（本会単独事業）56件 1,404,000円

(3) 歳末たすけあい運動による激励訪問

(4) 緊急食料品給付事業 60世帯 89袋

(5) 福祉電話設置運営 4台 81,986円

(6) 災害見舞金事業

火災見舞金 1件

浸水見舞金 1件

5. 施設運営・管理の実施

広く市民の皆さんからのニーズに応え、安全安心に利用していただけるよう環境整備を行いました。

(1) 市施設の指定管理・運営(2施設)【市指定管理】

・東近江市福祉センターハートピア

一般来館者 22,134名

貸館利用者 9,461名(787件)

・能登川障害福祉センター

(2) 市社協施設の管理・運営

ちやがゆの郷、かじやの里の新兵衛さん

永源寺支所ゆうあいの家、蒲生支所せせらぎ

蒲生デイサービスセンターあさひの

① 小規模多機能居宅介護事業所（かじやの里の新兵衛さん）屋根改修工事

契約審査会 11月 2日

入札 11月28日

《地域福祉活動の推進》

6. 地域で安心して暮らせるために

「見守り」や「声かけ」、支え合い活動の推進・支援

(1) 地域見守り支援事業

日常적인見守り活動のきっかけづくりや、ひとり暮らし高齢者等の状態を把握するため、民生委員児童委員や福祉委員、地域ボランティアによる個別訪問活動を支援し、地域の見守り活動を実施しました。

・地域見守り活動の実施内容

給食サービス・配食サービス・友愛訪問・ひとり暮らし高齢者安否訪問

対象者 965名 実施回数 132回 延べ人数 9,409名

(2) サロン活動支援

自治会館などの暮らしに身近な場所を高齢者等に開放し、地域ボランティアや民生委員児童委員、自治会などが支援協力する地域ぐるみの見守り活動につながるサロン活動の支援を行いました。また、「あったかサロンづくり事業補助金」(市委託)と「ふれあいいいききサロン助成金」により、地域サロンへ活動助成を行いました。

・あったかサロンづくり事業補助 132ヶ所 9,220,496円

開催回数 1,791回 参加者延 35,551名

・ふれあいいいききサロン助成 93ヶ所 4,348,800円

開催回数 650回 参加者延 15,952名

・サロン活動支援(相談・打合せ、ボランティア調整など) 391回

・ニコニコ健康づくり&コミュニケーションゲーム講習会の開催

全4回シリーズ 参加者延 124名



ニコニコ健康づくり&
コミュニケーションゲーム講習会



御園地区 駒寺サロン



愛東地区 北坂町しあわせホーム

(3) 小地域ネットワークづくり

どのような状況にあっても暮らし続けられる地域づくりのために、モデル地区を指定し、住民懇談や学習の場を通して、住民自らが地域の状況や課題を認識し、それぞれの地域に合った支え合いのネットワークづくりの支援を行いました。

・小地域ネットワーク活動実施地域の支援 2自治会

(4) 生活支援サポーターの養成

制度やサービスだけでは支えきれない困りごとや暮らしづらさを抱える人と、「困っている人を支援したい」「何かしたい」と感じている人をつなぐ、地域性に
 応じた新たな助け合いの仕組みをつくるため、3ヶ所で講座を開催しました。

- ・生活支援サポーター養成講座の開催 3地区 12回 参加者延 230名
- ・生活支援サポーター“絆”活動支援 445回
- ・長峰北生活サポート隊活動支援 4回
- ・八日市地区生活支援サポーター活動支援 13回
- ・御園地区生活支援サポーター活動支援 16回



御園地区 生活支援サポーター養成講座



八日市地区 サポーター交流会



生活支援サポーター“絆”視察交流研修

(5) 地域防災・災害時要援護者支援

近隣住民による、日頃からの助け合い、支え合いのきっかけとなる学習会や「住民支え合いマップづくり」、「DIG（災害図上訓練）」などに取り組む自治会へ職員が地域に出向き、推進に努めました。

- ・DIG（災害図上訓練） 2ヶ所
- ・住民支え合いマップ 1ヶ所
- ・防災マップ 1ヶ所
- ・防災委員会 1ヶ所
- ・自主防災会議 3ヶ所
- ・災害時要援護者支援 1ヶ所
- ・防災訓練 1ヶ所
- ・命のバトンの取り組み支援 2ヶ所



防災訓練



住民支え合いマップづくり



命のバトン

(6) 地域福祉活動のきっかけとなる懇談会等の開催

近隣住民による助け合い、支え合い活動のきっかけとなるよう、懇談会や交流会を開催しました。

- ・福祉委員会、福祉推進委員会、福祉協力員への活動支援 115回
- ・地域福祉懇談会の開催 4地区 7回 参加者 775名
- ・福祉委員会、福祉推進員交流会の開催 2地区 4回 参加者 193名



永源寺地区 福祉委員交流会



湖東地区 福祉懇談会



能登川地区 学区別懇談会

7. 市民参加・市民活動のまちづくり

地域福祉、ボランティア活動への参加や活動の促進、地区社協活動の活性化、NPOや福祉団体、当事者組織などの支援を推進

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動への参加を希望する方と、ボランティアの協力を求める方をつなぎました。また、学生をはじめとした若者の力を東近江市に迎え、地域の困りごとの解決に向けた「ワークキャンプ」の活動を支援しました。

「災害ボランティアセンター」については、東日本大震災での教訓などから、その在り方について検討しました。市総合防災訓練では、今年度初めての職員参集訓練や、災害対策本部および民生委員児童委員協議会等と連携して開設運営訓練を行いました。また、『東近江市地域防災計画』の見直しにあたり、本会として、災害時の災害ボランティアセンターの開設から閉所までの流れなどについて、行政と協議し見直し案への提案を行いました。

・ボランティアの把握・登録数

区 分	登録数	登録人数	登録外把握数	登録外把握人数
個人ボランティア		88人		7人
ボランティア団体	98団体	1,429人	58団体	789人
ボランティア人数計		1,517人		796人

- ・ボランティア・市民活動に関する相談窓口の開設
問い合わせ・相談 481件

思いやりや気づきにつながる学習プログラムの開発に努めました。また、市内在住の学生の実習を積極的に受け入れ、将来の福祉人材の育成にも取り組みました。

- ・住民支えあい講演会 1回 参加者 126名
- ・福祉のまちづくり講座、地域福祉講演会の開催
2地区 4回 参加者 289名
- ・福祉教育（市内小中学校等への出前講座）
学校 90件 回数延 97回 参加者延 3,348名
相談、問合せ、コーディネート 218件
- ・社会福祉援助技術現場実習の受け入れ 龍谷大学4名 花園大学1名



住民支えあい講演会



福祉のまちづくり講座



箕作小学校 福祉教育

(4) 企業等の貢献活動への支援

地域貢献や社会貢献活動、社員のボランティア活動を行う市内事業所、企業に対し、支援しました。

(5) 「第4回退職シニア地域デビュー（仲間づくり応援）講座」の開催

団塊世代をはじめとする、退職後の仲間づくりや地域活動の人づくりのため、講座を開催しました。講座受講生OBには企画や講師で参画いただきました。

全6回シリーズ 参加者延 97名

協力：第1～3回講座受講生OB（遊歩会・ピヨンの会・菟遊会）

(6) 地区社協活動の支援と活性化

「地区住民福祉活動計画」の中核となる地区社協を支援するため、「会費」「善意銀行」「共同募金」による活動助成を行いました。また、市まちづくり推進課との連携を図り、地区社協と地区まちづくり協議会との関係調整の支援を行いました。

- ・地区社協運営・活動支援 1,087回
(役員会への参加、活動に関する相談・コーディネート、事業への参加協力、研修会の開催、広報紙の発行等)
- ・地区社協への運営費、事務局設置費助成

会費による運営費助成	14地区	1,805,364円
会費による事務局助成	7地区	1,508,487円

・地区社協への事業費助成

赤い羽根共同募金による助成	10地区	714,500円
歳末たすけあい募金による助成	9地区	550,800円
善意銀行による助成	12地区	786,725円



湖東地区社協 高齢者市内見学



愛東地区社協 じゅぴあまつり



蒲生地区社協 県外研修

8. 困った時の相談窓口と権利擁護支援

暮らしに関わる困りごとへの相談窓口の設置。認知症や障がいにより判断能力が不十分な方々の金銭管理や福祉サービスの利用、成年後見制度利用の支援

(1) 心配ごと相談所の開設

生活上の心配ごとや困りごとの相談に、心配ごと相談員（民生委員児童委員）が関係機関や制度・施策につなぐなどの支援を行いました。また、相談員の研修会を開催しました。相談所開設場所については、来談者の動向や相談実績などを元に見直しを図りました。

・心配ごと相談所

開設 3ヶ所 開催数 102回 相談件数 33件

主な相談内容（家族12件、財産10件、生計5件 ほか）

・心配ごと相談員研修 3回 参加者延 55名

(2) 無料法律相談の開設

弁護士による無料相談を開設し、法的対応が必要な家庭、暮らしの困りごとに応じました。

・法律相談

開催数 12回 相談件数 43件

主な相談内容（金銭トラブル15件、財産14件、家庭11件 ほか）

(3) 常設相談の実施

市民の身近な相談窓口として、職員が常時相談に応じました。また、市民をたらい回しにしないよう、必要に応じて福祉施設、行政などの関係機関につなぐ支援

に取り組みました。

- ・常設相談

相談件数 2,289件

主な相談内容（生計452件、小地域福祉活動372件、ボランティア305件 ほか）

(4) 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症や障がいにより判断能力が不十分な方々へ、福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理、書類等預かりサービスを通じた生活支援を行いました。また、必要に応じて成年後見制度への移行支援や、後見人との連携による支援を行いました。

- ・福祉サービス利用援助
- ・日常的な金銭管理援助
- ・書類等預かりサービス
- ・成年後見制度の利用援助

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明 その他	合 計
問合せ 件数	26件	24件	9件	1件	60件
初回相談 件数	29件	28件	15件	1件	73件
相談援助 件数	2,047件	2,629件	2,187件	1件	6,997件
契約件数	62件	54件	28件	0件	144件

3月31日現在

9. 子ども、ひとり親家庭、高齢者支援

いきいきと安心して暮らせるまちづくりをすすめるため、地域や福祉センターでの取り組み、募金や寄付などの善意を活用

(1) 障がい児の地域活動支援

障がいを持つ子どもたちが楽しく有意義な休暇を過ごせるよう、「サマーホリデー事業」「障がい児親子サロン」等の実施、支援を行いました。特に「サマーホリデー事業」は市内6会場で開催し（市委託）、本事業を持続可能なものとするため、保護者との協働を進め、新たな東近江市の「サマーホリデー事業」のカタチづくりに取り組みました。

・サマーホリデー事業	6会場	開催日数	17日
	参加登録児童	121名	参加者延 1,163名
	指導員	40名	参加者延 501名
	ボランティア		参加者延 1,528名
	打合せ会議		5回
	指導員リーダー打合せ会議		3回
	指導員研修会		3回
・障がい児親子サロン	1会場		11回
	対象登録児童	25名	参加者延 131名
	対象登録児童の家族		参加者延 139名
	ボランティア	21名	参加者延 62名



サマーホリデー事業

障がい児親子サロン事業

(2) 子育て支援

地域のボランティアの協力により「おもちゃ図書館」を開設し、子育て中の親子の支援を行いました。また、「児童センター」（市委託）では親子参加の講座の開催や子育てサークルの支援を行いました。

・おもちゃ図書館の開催	55回	参加者延	1,253名
・移動おもちゃ図書館の開催	15回	参加者延	378名
・おもちゃの貸出			175件
・「子育ていっぽにほ通信」編集会議	年20回	参加者延	152名
・おしゃべり広場	12回	参加者延	74名

(3) 福祉センターでの事業実施

「児童センター」（市委託）では、乳幼児の親子から小中学生まで、幅広い年齢の子どもたちに遊び場の提供を行い、東近江市“子育て三方よし構想”の民間子育て支援の事務局機能について検討を進めました。

「老人福祉センター」（市委託）では概ね65歳以上の高齢者を対象とした講座の開催や交流、相談等を行いました。「母子福祉センター」（市委託）では、一人親家庭を対象とした講座の開催や交流、相談等を行いました。

①児童センター事業

・遊びを通した日常的な関わりの中での児童や保護者からの相談	136件		
・自由来館（遊び場の提供、遊び指導）	10,986名		
・親子サロン「まめっこサロン」	18回	参加者延	860名
「ぼかぼかサロン①②」	36回	参加者延	1,842名
・プレイパーク活動支援	11回	参加者延	249名
・夏休みクラブ活動「手作り教室」	2回	参加者延	26名
「折り紙教室」	2回	参加者延	59名
・あそび隊	2回	参加者延	39名
・サイエンスクラブ	17回	参加者延	246名
・サイエンスクラブ特別講座	3回	参加者延	168名
・びわっこまつり	1回	参加者延	300名
・子育て支援機関交流会議への参加	3回		

②母子福祉センター事業

・母子および寡婦の家庭生活の安定と自立の促進を図る各種相談	168件		
・母子福祉推進員会、母子福祉のぞみ会の会議参加、事業協力			
・教室等の開催 一日バス旅行	1回	参加者	29名
パソコン教室	10回	参加者延	59名
料理教室	6回	参加者延	46名
生け花教室	10回	参加者延	138名
もぐもぐクラブ	4回	参加者延	52名

③老人福祉センター事業

・自由来館			309名
・サークル活動の場所提供	5団体	57回	利用者 1,015名
・教室等 パソコン教室 (Word)	6回	参加者延	59名
パソコン教室 (Excel)	6回	参加者延	59名
寄せ植え教室	1回	参加者	11名
陶芸教室	2回	参加者延	33名



おもちゃ図書館



ぼかぼかサロン



サイエンスクラブ特別講座

(4) 遊具の設置と事故防止活動

「赤い羽根共同募金」による児童遊園の遊具設置と補修の助成を行いました。また、子どもや高齢者の交通事故防止のため自治会へ「飛び出し人形」を配布し、注意喚起しました。

- ・児童遊園等遊び場への遊具設置および補修の助成

新設	6自治会	870,000円
補修	7自治会	261,500円
- ・補修用ペンキの貸出
- ・交通事故防止のための「飛び出し人形」の設置

飛び出し人形設置	69自治会
----------	-------



(5) 米寿記念写真の贈呈・掲額

「赤い羽根共同募金」により満88歳を迎えた方々に米寿をお祝いする記念写真を撮影、掲額、贈呈しました。

- ・撮影、掲額、贈呈 222名 961,400円

10. 調べる、知らせる、考える取り組み

地域の福祉課題や、市民の地域福祉への関心を高めるため、調査・広報啓発・検討の取り組みを推進

(1) 社会福祉調査の実施

支援を必要とする方々の実態や、今後の地域福祉の取り組み方向の指標とするため、民生委員児童委員と協働して「社会福祉調査」を実施しました。

(2) 広報紙の発行とホームページの運営

市民に福祉への理解や、ボランティア活動をはじめとする福祉活動への参加、呼びかけ、情報発信のために「ひがしおうみ社協だより」および支所だよりを発行しました。また、ホームページの運営を通して、市外を含めた幅広い啓発、情報発信に取り組みました。

広報誌名	発行回数／部数／配布方法等
「ひがしおうみ社協だより」	6回／40,700部／新聞折込、郵送
「東近江市福祉センターだより」	1回／40,000部／新聞折込
八日市支所だより「きらきら」	} 4回／15,150部／新聞折込
ボランティアだより「ほっと」	
「東近江市児童センターだより」	4回／8,236部／児童、関係機関配布
「子育ていっぽにほ通信」	3回／1,633部／関係機関配布
「能登川支所だより」	6回／8,000部／自治会配布
(「こんにちはのとピーです」内)	



(3) 『東近江市地域福祉活動計画』の策定

会長の諮問委員会である策定委員会をはじめ、14地区ごとのワーキング会議では住民参画を基本とし、14地区ごとの「地区住民福祉活動計画」、市域の「地域福祉推進計画」、市社協の「基盤強化計画」の策定作業を進め、今後5年間の地域福祉の具体的な活動方針である『東近江市地域福祉活動計画』の策定に取り組みました。

① 東近江市地域福祉活動計画の策定

- ・策定委員会の開催 7回 策定委員 32名 (出席者延 158名)
 - ・作業委員会の開催 5回 作業委員 24名 (出席者延 105名)
 - ・地区ワーキングコア会議の開催 2回
 - ・ケースワーカーへの聞き取り 3回
- 東近江市社会福祉課生活保護担当 3名
 東近江市いきいき支援課 高齢者支援グループ 3名
 障がい者支援グループ 3名

② 地区住民福祉活動計画の策定と推進

- ・各地区ワーキング会議の開催 68回 出席者延 670名
- ・住民懇談会、座談会等の開催 5地区 6回 参加者延 272名
- ・計画推進に向けた会議等の開催 6地区 27回 参加者延 290名



策定委員会



愛東地区 若者懇談会



市辺地区 福祉座談会

《在宅福祉活動の推進》

1.1. 高齢者福祉活動

(1) 介護保険事業

【居宅介護支援事業】

利用者が必要とされる保健福祉サービスが、幅広い視点から効果的に提供されるよう、サービス事業者や関係機関等との連携、また、事業所全体で利用者一人一人を担当している意識の強化を目指して事業を実施しました。

	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
ケアプランセンター	4	介護	4,512人	376人	4,251人	355人

①管理者会議（4回）

法改正に伴う介護サービスの状況、サービス調整上の影響について、資質の向上、予算について他

②全体会議、事例検討（6回）

福祉用具のデモンストレーション、ケース検討他

③アンケート会議（3回）

④研修会議（1回）



(内部事例検討会)

【訪問介護・訪問入浴事業（介護予防含む）】

内部・外部研修を通じて職員の資質向上に取り組み、より安心していただけるサービスの提供に努めました。また、小学校の福祉学習への参画を行うなど地域福祉活動との連携もはかりました。訪問入浴では医療機関との連携を密にしたサービス提供に取り組みました。

	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
ヘルパーステーション	5	介護	1,989人	166人	33,065人	2,756人
		介護予防	759人	64人	4,594人	383人
訪問入浴	1	介護	68人	6人	377人	32人

①管理者会議 年11回開催

実習生指導について、生活援助提供時間、書類の保存期間等運営に関して、障がい福祉サービス、緊急時の協力体制、個人情報取扱、接遇について、貴重品の管理について、服薬管理に関して、自己評価確認、集団指導内容確認、職員育成他

②サービス提供責任者会議 年11回開催

実習生指導について、訪問介護計画、要支援利用者の援助目標の立て方、居宅介護事業等について、台風・停電時等の対応について、サービス提供責任者業務確認、事業所間応援体制、予算・事業計画について他



(小学校福祉学習)

【通所介護事業（介護予防含む）】

利用者個々のニーズに応じたサービス提供に心がけると共に、プログラム内容の見直しを行い魅力ある事業所づくりに取り組みました。

	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
デイサービスセンター	5	介護	2,894人	242人	24,189人	2,016人
		介護予防	706人	59人	4,500人	375人

①管理者会議 年12回開催

ヒヤリハット検証、管理者と相談員の役割分担、相談員の業務について、各事業所間の情報交換、自己評価、次年度計画、個別研修計画検討、集団指導内容確認他

②相談員会議 年11回開催

アンケート検討、介護技術研修検討、緊急時の対応について、相談員の役割・業務について、感染症対策について、事業所間交換研修、記録研修、次年度研修計画他



(感染症研修)



(外出～記念撮影)



(入浴機器)

【認知症対応型通所介護事業】

認知症高齢者支援の専門事業所として担当職員の資質向上に努め、利用者の地域での生活の継続支援に取り組みました。

	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
認知症対応型 デイサービスセンター	2	介護	309人	26人	3,577人	298人

①管理者会議 年6回開催

地域密着型サービスの基本理念について、認知症高齢者見守りネットワーク事業について、徘徊保護訓練実施について、同訓練振り返り、事故対応について、次年度計画他

②相談員会議 (通所介護と合同実施)

【小規模多機能型居宅介護事業 (介護予防含む)】

地域密着型事業所として、認知症高齢者への直接支援だけではなく、地域住民の認知症への理解促進や啓発、また徘徊保護訓練、見守りネットワーク事業を通じて地域との連携をはかりました。

	事業所数	延契約者数		延利用者数		
		年間	月平均	通い	訪問	泊り
かじやの里の 新兵衛さん	1	492人	41人	5,217人		
				3,696人	773人	748人

①管理者会議 (認知症対応型通所介護と合同実施)

②相談員会議 (通所介護と合同実施)

③運営推進会議 年6回開催

平成23年度事業報告、事業の進捗状況、徘徊保護訓練、見守りネットワーク会議について、屋根改修工事説明等、次年度事業計画について

④徘徊保護訓練関係

- ・実行委員会（6月25日、7月2日、7月11日）
参加自治会、訓練までのスケジュール確認
- ・徘徊保護訓練プレゼンテーション（7月26日）
参加自治会長への今年度の概要について説明
- ・事前打ち合わせ（9月20日、10月2日）
自治会長、徘徊役等当日の動きの確認
- ・認知症学習会（9月29日）
- ・徘徊保護訓練（10月6日）能登川地区17自治会参加



(認知症研修会)



(徘徊保護訓練)

⑤見守りネットワーク会議（11月16日開催）

(2) 自主事業

【訪問介護私的契約サービス】

事業名	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
おたすけサービス	5	介護	49人	4人	364人	30人

(3) 市受託事業

【高齢者支援事業】

事業名	事業所数	延契約者数	延利用者数	開催数
介護予防ケアマネジメント	4	953人	870人	—
生活管理指導員派遣事業	4	42人	170人	—
高齢者虐待対応短期宿泊事業	1	0人	0人	—
生活管理指導短期宿泊事業	1	0人	0人	—
介護予防活動支援事業(脳の健康教室)				
第一期(4/9~7/23)	2	20人	267人	28回
第二期(7/30~11/19)	2	21人	236人	28回
第三期(11/26~3/25)	2	25人	280人	28回

(4) その他

【福祉輸送事業】

事業名	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
介護タクシー	1	乗降介助	265人	22人	1,376人	115人
		身体介護	118人	10人	387人	33人
法定タクシー	1	乗降介助	100人	9人	222人	19人

1 2. 障がい（児）者福祉活動

(1) 自立支援事業

【居宅介護事業】（ホームヘルパー派遣）

サービス利用者の増加と共に、多種多様なニーズへの対応が求められてきました。このニーズに対応できるよう、内部・外部研修を通じ職員の資質向上とサービス提供体制の確保に努めました。

	事業所数	延契約者数		延利用者数	
		年間	月平均	年間	月平均
ヘルパーステーション	5	1,369人	114人	19,375人	1,615人

①会議等（訪問介護と一体的に実施）

【指定特定相談支援事業（H24新規事業）】

障がい者の方が、必要とされる福祉サービスをご利用いただけるよう、サービス利用計画の作成と調整を行う特定相談支援の事業所指定を受けました。

	事業所数	利用支援	
		利用支援	継続支援
特定相談支援事業所	2	5件	14件

①担当国会議（4月10日、5月25日）

②事業所単位事業調整（随時）

- ・特定相談業務確認、相談支援実績報告様式について、個別ケース検討

(2) 市受託事業

【地域生活支援事業】

事業名	事業所数	相談件数			その他 連絡調整	延活動 件数
		電話	来所	訪問		
相談支援事業	2	288件	97件	361件	1,501件	2,247件

①会議等（特定相談支援事業と一体的に実施）

事業名	事業所数	延契約者数		延利用者数	
		年間	月平均	年間	月平均
障がい者デイサービス事業	2	640人	54人	2,551人	213人

①担当国会議 年6回

- ・情報交換、交流事業について、作品展示について、あんしんネットに関して、次年度事業について他



(機能訓練)

(交流会)

事業名	事業所数	延契約者数		延利用者数	
		年間	月平均	年間	月平均
外出支援事業（移動介護サービス）	1	41人	4人	109人	10人
外出支援事業（カイトヘルプサービス）	5	113人	10人	298人	25人
訪問入浴事業	1	0人	0人	0人	0人

1 3. その他

- ・介護員養成実習受け入れ 67名（日野高校13名、びわこ学院大学35名、J A9名、シルバー人材センター10名）
- ・階層別研修 ステップⅠ研修 1名
- ・ 〃 ステップⅡ研修（ソーシャルワーク）1名
- ・ 〃 ステップⅢ研修（事例研究）1名 （事業評価）1名
- ・ 〃 ステップⅢ研修（リーダーシップと問題解決）6名
- ・階層別研修 管理者研修 1名
- ・介護事業管理者研修（リスクマネジメント） 4名
- ・介護職員感染対策研修会 1名
- ・介護技術研修 1名
- ・発達障害の理解を深める研修会、高次脳機能障害等研修 2名
- ・神経難病従事者、難病に関する研修 9名
- ・滋賀県認知症研修会 1名
- ・高齢者虐待防止研修 4名
- ・障害者虐待防止研修 2名
- ・東近江介護サービス事業者協議会研修 18名
- ・東近江医師会との意見交換（居宅介護支援事業所） 7名
- ・在宅看取りに関する研修 3名
- ・介護支援専門員関連研修 12名
- ・内部事業別研修
（介護技術、接遇、精神障害に関する研修他 計8回 延べ336名）

1 4. 福祉諸団体の担当事務局と活動支援

- (1) 東近江市共同募金委員会事務局の運営
- (2) 東近江市民生委員児童委員協議会
 - ①協議会事務局の運営
 - ・東近江市民生委員児童委員大会の開催
 - ・理事会の開催（毎月25日）
 - ・部会・委員会活動の実施
 - ・市内14地区民児協との連携
 - ②要援護者把握調査（社会福祉調査・災害時要援護者支援台帳）の実施
 - ③各種団体との協働活動

④広報「民児協のまど」の発行（発行回数 6回）



地区民生委員児童委員協議会
会長副会長研修



高齢者福祉部会研修



民生委員児童委員大会

- (3) 東近江介護サービス事業者協議会事務局を担当
- (4) 大萩茗荷村推進委員会への協力
茗荷村30周年記念式典への出席
- (5) 社会を明るくする運動への参画
- (6) その他福祉諸団体の活動支援